

「財政融資資金電算機処理システムの元号対応に係る設計・開発業務 一式 調達仕様書(案)」に対する意見招請の結果について

項番	仕様書該当箇所			意見内容		意見理由・質問内容	修正可否	意見に対する回答
	頁	項番	項目内容	変更前	変更後			
1	2-7	2.1. 目的	本調達は、財政融資資金電算機処理システムにおいて、平成31年1月若しくは、平成31年4月の元号変更に対応するため、統合機能(元号マスタ)の開発及び既存機能に必要なプログラム改変を行うものである。	-	-	-	-	<p>【対応内容】 「本調達は、財政融資資金電算機処理システムにおいて、元号改定に対応するため、統合機能(元号マスタ)の開発及び既存機能に必要なプログラム改変を行うものである。」に変更します。</p> <p>【理由】 元号改定の日が決まったことに伴い、変更するものです。</p>
2	2-11	2.5. スケジュール	本業務の完了期限は、平成30年12月31日までとする。ただし、元号変更時期が平成31年4月に決定された場合は、完了期限を平成31年3月31日までとする。 元号変更時期が平成31年1月と平成31年4月の想定スケジュールを以下に記述する。	-	-	-	-	<p>【対応内容】 「本業務の完了期限は、平成31年3月31日までとする。想定スケジュールを以下に記述する。なお、財政融資資金の貸付金業務等に関連するサブシステム(財政融資資金事務オンラインシステム、財投運用管理システム、地方債管理システム、債権債務管理システム、バックアップセンターシステム)については、元号改定後に実行される貸付金に係る借入申請等が早期に提出される可能性があることから、試行期間を考慮して平成30年12月末までに一次リリースを行う。また、財政融資資金の貸付金業務等に関連していないサブシステム(債務償還能力分析等システム)については、平成31年3月末までに二次リリースを行うことを想定している。ただし、対象サブシステム及びリリース時期については、契約後の要件定義において、財務省理財局管理課(以下、「主管課」という。)と協議の上、契約期間内で変更することも有り得る。」に変更します。また、これに合わせて想定スケジュールも変更します。</p> <p>【理由】 元号改定の日が決まったことに伴い、想定スケジュールを具体的に説明するものです。</p>